

## 令和7年11月中央市定例教育委員会 議事録

- (1) 開会及び閉会に関する事項並びにその年月日時  
令和7年11月7日（金曜日） 午後2時から午後3時20分
- (2) 出席及び欠席委員の氏名  
出席者 石田秀博教育長、石原英一教育長職務代理者、河西忠衛教育委員  
薬袋美和教育委員、望月孝之教育委員  
  
欠席者 なし
- (3) 委員及び傍聴人を除く議場に出席した職員の職氏名  
功刀亜紀子教育総務課長、有泉浩貴生涯教育課長、濱田幸一朗教育指導監、  
保坂憲一郎主幹、村松美里副主幹、青柳勇一主幹、今村直樹副主幹
- (4) 出席した長及びその事務局部の職員の職氏名  
なし
- (5) 教育長等の報告の要旨
  - ・令和7年度「中央市総合教育会議」の開催について（周知）
  - ・令和8年度登用管理職（校長、教頭、主幹教諭）採用試験受験者への激励面接会について
  - ・今後の予定について
- (6) その他
  - ・令和7年11月から12月の教育委員会関係行事予定について
- (7) 協議事項
  - ①令和7年度 中央市一般会計補正予算（教育委員会所管分）（案）について **【非公開】**
  - ②中央市使用料徴収条例の一部改正について **【非公開】**
  - ③令和7年度教育委員会の自己点検・評価報告について
  - ④その他
    - ・就学援助費（要保護）について
- (8) 議題となった動議を提出した者の氏名  
なし
- (9) 議事の概要  
別紙のとおり

(10) 決議事項

- ・協議事項①及び②については、教育委員会会議規則第13条の規定により非公開とすることについて
  - 今後市議会など関係機関との協議等を必要とする事項ため非公開とすることを可決する。
- ・令和7年度 中央市一般会計補正予算（教育委員会所管分）（案）について【非公開】
  - 原案のとおり承認される。
- ・中央市使用料徴収条例の一部改正について【非公開】
  - 原案のとおり承認される。
- ・令和7年度教育委員会の自己点検・評価報告
  - 原案のとおり承認される。
- ・令和7年度就学援助費（要保護）について
  - 原案のとおり承認される。

(11) その他教育長が必要と認めた事項

なし

○ 議事録

教育長	協議事項にあります「令和7年度教育委員会の自己点検・評価報告について」により各担当リーダーを出席させておりますのでご承知願う。
教育長	<b>1. 開会、あいさつ</b> これから11月の定例教育委員会を開会する。
事務局	<b>2. 前回の議事録の承認</b> 委員各位のお手元に届いている10月定例教育委員会の会議録について、内容等において疑義等はあるか。
委員	異議なし。
教育長	<b>3. 報告事項</b> (1) 教育長からの諸報告 令和7年度「中央市総合教育会議」の開催について。令和8年度登用管理職(校長、教頭、主幹教諭)採用試験受験者への激励面接会について。今後の予定について。何か質問意見はあるか。
委員	特になし。
事務局	(2) その他 教育総務課長、生涯教育課長から市関係・教育総務関係・学校教育関係・生涯教育関係の11月・12月の日程について説明。
教育長	何か質問はあるか。
委員	特になし。
教育長	<b>4. 協議事項</b> 協議事項の(1) 令和7年度 中央市一般会計補正予算(教育委員会所管分)(案)について及び(2) 中央市使用料徴収条例の一部改正については、今後の市議会など関係機関との協議等を必要とする事項であるため、教育委員会会議規則第13条の規定により、非公開としたいがよろしいか。
委員	異議なし。
教育長	賛成多数により、協議事項(1)及び(2)については非公開とする。  (1) 令和7年度 中央市一般会計補正予算(教育委員会所管分)(案)について (非公開)  (2) 中央市使用料徴収条例の一部改正について (非公開)

教育長	(3) 令和7年度教育委員会の自己点検・評価報告について
事務局	事務局に説明を求める。
教育長	(事務局により令和6年度教育委員会の自己点検・評価報告書により説明)
委員	何か質問はあるか。
教育長	文末の体言止めや動詞の使い方、課題・成果の表現を整理してほしい。
委員	具体的な項目はどこか。
事務局	14 ページの「継続した教員等の人材確保が課題である」という表現や外国語教育の部分、18 ページの青少年育成事業についての記述は、成果や課題との関係や文体・表現の統一や誤字など一部に修正が望まれる。
委員	確認する。
事務局	3 ページの(2)「外部の教育に関し学識経験を有する者」は、「教育に関し学識経験を有する外部の者」の方が理解しやすい表現だと思う。
委員	理解しやすい表現に修正する。
事務局	教育委員会の事業点検・評価報告書は、この3年間で大きく改善され、今年には特に内容の充実したものとなっている。昨年度から現在のスタイルとなり、今年度は報告書の最後に「課題」をまとめた点が評価でき、翌年度の目標や改善点がより明確になっている。評価の低い項目についても、今後の課題として共有し、改善につなげていくことが重要である。初期の簡易な形式と比べ、内容・構成ともに大きく向上しており、これまでの取組の成果が表れている。報告の時期については、12月ではなくもう少し早い段階で実施することで、日常業務への反映がより効果的になると考える。
委員	今後は、できる限り早期に取り組む体制を整えられるよう努めていく。
教育長	問題点を明確にしているのので、次年度の取組に早く反映できるようにしていただきたい。可能であれば夏頃までにまとめていただけるとよいと思う。
委員	担当者は3~4か月の間に内容自体を把握している。ただ、皆さまに提案するのがこの時期になってしまうということをご理解いただきたい。
教育長	早期に仕上げるよう努めてください。
委員	他に何かあるか。
事務局	家庭教育支援事業、ICT教育推進事業についても、成果・課題をもう少し明確に記載する必要がある。
委員	確認して明確に記載する。
事務局	評価結果は4が1件のみであり、全体的に控えめな評価となっている。自分たちの仕事を報告する際には、良い点と改善が必要な点をそれぞれ評価し、適切に使い分けるべきである。
委員	中学校語学研修事業については、財源が厳しく予算化が困難であることから、評価項目から除外しても差し支えないと考える。代替事業が検討できたら、除外してもいいと思う。
委員	中学校語学研修事業については、全ての生徒が参加できるわけではないことから、特定の生徒のみを対象とする事業よりも、全生徒が体験できる事業を実施する方が望ましい。財政的制約を踏まえ、今後はその方向で進めていくことが重要である。

事務局 委員	代替事業等の調査研究を進めていく。 ホームステイの事業を実施する予定はないのか。高校では、クラスに2名程度のホームステイがいて、一緒に授業を受けたり英会話をしたりして非常に楽しい体験をしたと聞いたことがある。
事務局 委員	実施する予定はない。 ホームステイの方が、海外に行くよりもリーズナブルで、多くの子どもたちがコミュニケーションをとることができるので、効果が大きいと思う。
事務局	指摘いただいた語句等について一部修正させていただき、この会議による最終的な点検評価についてよろしければ、この点検評価の報告書を12月の議会に提出する予定である。
教育長 委員	指摘を受けた点については一部修正を加え、承認としてよろしいか。 異議なし。
教育長 事務局 教育長 委員 事務局 教育長 委員	(4) その他 令和7年度就学援助費(準要保護)について(新規申請者) 教育総務課長から資料により説明 この件で何か質問・意見があるか。 保護者は働いていないのか。 働いていないと聞いている。 何か質問はあるか 特になし。
教育長	<b>5. 閉会</b> これをもって、11月の定例教育委員会を閉会する。